

● カラスノエンドウと カスマグサの観察

水田のほとりに、カラスノエンドウとカスマグサの混生した群落が見られます。どちらもマメ科の一年草です。

カラスノエンドウは赤紫色の花で、今の季節はみなさんもよく見かけるとおもいます。

カスマグサはあまり見かけませんが、ここにはたくさん生えているのでよく見てみましょう。



カラスノエンドウ



カスマグサ



参考:スズメノエンドウ



カスマグサの花は小さくて薄いピンク色ですが、拡大すると白地に紫色の網目状の紋様があることがわかります。カラスノエンドウと違って花の柄が長いのも特徴です。

どちらの葉も多数の小葉からなる複葉で、先端は巻きひげ状になっています。カラスノエンドウの名前は、果実（豆果）が黒いことから付けられた名前と言われています。また、カラスノエンドウの小葉の先端はへこんでいることからヤハズエンドウの別名もあります。

次回の観察会では、黒い果実が観察できると思います。

カスマグサは、花の大きさや色が、カラスノエンドウとスズメノエンドウの間であることからつけられた名前と言われています。両種の雑種という意味ではありません。

今回、観察コースのスズメノエンドウは刈り取られてしまったようで、観察できませんでした。帰路の路肩にたくさん見られました。（飯島和子）